

AI による IP 無断利用に、日本発の「共通ルール」と実装インフラ

一般社団法人 日本 IP.AI 共創協会が活動開始

— 「世界 IP.AI 共創宣言」にグローバル AI 企業 9 社・IP ホルダーが賛同署名。

本日 9/11、国内外の AI 企業と IP ホルダーが集う「日本 IP.AI 共創カンファレンス」を開催 —

株式会社 NEXYZ.Group（東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 グループ代表：近藤太香巳、東証スタンダード：4346）は、当社グループ代表の近藤太香巳が代表理事を務める一般社団法人 日本 IP.AI 共創協会（Japan IP.AI Co-Creation Association）が活動を開始したことをお知らせします。

生成 AI による日本 IP の無断学習・利用が国内外で相次ぐなか、同協会は IP 権利者と AI 事業者が対立ではなく共創するための共通指針「世界 IP.AI 共創宣言」を発表。すでにグローバル AI 企業 9 社および IP ホルダーが賛同署名を行っています。本日 2026 年 9 月 11 日（金）には、設立説明会を兼ねた「日本 IP.AI 共創カンファレンス」を東京・渋谷で開催します。

■ サマリー

1. 理念だけで終わらせない — 6 原則からなる「共通指針」と、権利処理を実装する共通基盤「Kagami Gate」を一体で提示
2. すでに賛同企業・原作者がいる — MiniMax(香港)、PixVerse(シンガポール)、HeyGen(米国)、Lovart(米国)ほか AI 企業 9 社、IP ホルダーとして秋元康事務所、株式会社 TSUBASA などが賛同済み
3. 実証済みの数字がある — 『キャプテン翼』×「PixVerse」の PoC で 45 日間 **32 万 9,314 件**の正規ライセンス生成を記録、基準違反は **0.14%**

■ 背景：訴訟は増えても、「AI で使ってよいか」を確認できる基盤がない

日本の IP が生成 AI に無断で学習・生成利用され、法的措置に至る事例が世界で増えています（※1）。しかし根本原因は個社のモラルや技術力ではなく、①権利確認ができない ②生成物の出所を追えない ③権利者に対価が戻らない という、共通基盤（インフラ）の不在にあります。

「IP 側 vs AI 側」の対立構図では、どちらの利益にもなりません。本協会は無断利用から「守る」だけでなく、正当なルールの下で IP を AI 時代の資産として「正しく活用する」ことを目指します。合言葉は「フェアユースから、フェアペイへ」。政府も 2026 年 6 月 12 日に知的財産戦略本部が「知的財産推進計画 2026」を決定しており、本協会はその民間側の実装基盤としての役割を目指します。

■ 活動①：指針 — 「世界 IP.AI 共創宣言」6 原則

AI は創造性を拡張するパートナーです。知的財産権を尊重し、適正なライセンスと透明なルールのもとで共存を追求します。

1. クリエイターと知的財産への敬意
2. 適切なライセンスの推進
3. AI イノベーションの促進
4. 共創と対話
5. 公平で持続可能なエコシステム
6. グローバルな協力

※本宣言は特定の企業・製品・サービスへの支持や推奨を目的とするものではありません。賛同は理念の共有を示すものであり、提携・出資・営業上の関係・法的義務を生じさせるものではありません。

■ 活動②：枠組み — IP 利用の“改札ゲート”「Kagami Gate」

宣言を実務で機能させる基盤が、株式会社 KAGAMIAI Holdings（協会の Founding & Technology Partner）が開発する「Kagami Gate（カガミゲート）」（特許出願中）です。①標準ライセンス（AI 学習・生成の許諾条件を世界標準化・一元化）、②監視（無断利用を 24 時間検知し是正まで自動化）、③自動分配エンジン（API 利用量に連動し権利者へ自動精算）の 3 本柱で構成され、複雑な権利処理を解消し「IP 利用をワンクリックで可能にする」ことを目指します。

▶ 詳細：2026 年 6 月 11 日リリース「AI と IP をつなぐ世界標準インフラ『Kagami Gate』67 兆円超の日本 IP を解放するライセンス管理・収益配分システムを開発」 <https://www.nexyzgroup.jp/press/2026/0611110000.html>

■ 活動③：実証 —『キャプテン翼』×「PixVerse」で約 33 万件の正規生成

PoC 第一弾として、世界的スポーツ IP『キャプテン翼』と動画生成 AI「PixVerse」による実装検証を実施しました（2026 年 6 月 12 日～7 月 26 日／45 日間）。

項目	結果
公式 IP による合法生成数	329,314 件（全件記録）
参加クリエイター	126,360 人／195 以上の国・地域
基準違反の検出・削除	451 件（約 0.14%）
地域別生成比率	海外 99%超（国内 1%未満）

IP の世界観とブランドを守りながら AI 上で安全に開放・管理できることを実証し、「違反を生ませない仕組み」を確立。生成に応じた収益を IP ホルダーへ還元しました。

▶ 検証結果の詳細：2026 年 8 月 7 日リリース <https://www.kagami-ai.com/news260807>

検証開始時（6 月 12 日）：<https://www.nexyzgroup.jp/press/2026/0612180000.html>

■ 活動④：商用化 —「MiniMax H3 IP Edition」

本日のカンファレンスでは、世界初の「日本 IP 正規ライセンス許諾 AI プロダクト」として、MiniMax の生成 AI モデル「H3」の **IP Edition** を発表します。参画 IP は『キャプテン翼』をはじめ、最新 IP からレジェンド IP まで順次追加していきます。

■ 本日開催「日本 IP.AI 共創カンファレンス」概要

項目	内容
テーマ	生成 AI 時代、日本の IP を世界へ。Model × Infrastructure × IP による新しい共創
日時	2026 年 9 月 11 日（金）13:00～16:00（受付 12:15／日英同時通訳あり）
会場	ネクシイズ スクエアビル 3 階セミナールーム（東京都渋谷区桜丘町 20-4）
主催／運営	一般社団法人 日本 IP.AI 共創協会／株式会社 KAGAMIAI Holdings
共催・パートナー	MiniMax／PaleBlueDot AI／KAGAMIAI

主な登壇者：近藤太香巳（協会代表理事）／秋元康氏（作詞家）／中條基氏（KADOKAWA 編集者・プロデューサー）／Linda Sheng（MiniMax President, Global Business）／Diego Rodriguez（Krea AI 共同創業者兼 CTO）／Alvin Kim（Higgsfield AI APAC 統括）

菅野充氏（横浜国際映画祭 実行委員長）／木村泰宗（KAGAMIAI Holdings CEO） **特別司会**：ハリー杉山氏

▶ プログラム全文・登壇者一覧：<https://www.ip-ai.or.jp/conf2026> ／ 開催告知リリース（8 月 31 日）：
<https://www.nexyzgroup.jp/press/2026/0831161700.html>

■ 今後の展開

アニメ素材での PoC 実施、認定クリエイターによる収益化プランの構築、邦画の海外 PR 戦略への活用、著作者人格権を遵守したルールの標準ライセンスへの反映、そして「世界 IP.AI 共創宣言」の賛同拡大とグローバル連携を進め、日本発の「IP×AI」流通ルールを世界標準へと押し上げます。

■ 代表理事コメント | 近藤太香巳

「AI の進化を止めることはできません。だからこそ、ルールをつくる必要があります。日本の IP は世界最高峰の価値を持っています。その価値を守るだけでなく、正しく世界へ広げ、クリエイターに正当な利益を還元する。“Fair Use”から“Fair Pay”へ。IP ホルダー、AI 企業、クリエイター、ファン 四方よしの“共創”へ。守る、活かす、創る、楽しむ。その真ん中に“共創”を置き、日本発の新しい IP/AI エコシステムを一緒につくっていきたいと考えています。」

■ 一般社団法人 日本 IP.AI 共創協会 概要

- ・ 名称：一般社団法人 日本 IP.AI 共創協会（Japan IP.AI Co-Creation Association）
- ・ 代表理事：近藤 太香巳
- ・ 活動開始：2026 年 8 月
- ・ 所在地：東京都渋谷区桜丘町 20-4
- ・ 事業内容：生成 AI 時代における IP 権利者と AI 事業者の共創指針（「世界 IP.AI 共創宣言」）の運用、共通基盤「Kagami Gate」を通じたライセンス管理・収益分配エコシステムの推進、啓発活動およびカンファレンスの開催
- ・ Founding & Technology Partner：株式会社 KAGAMIAI Holdings
- ・ 公式 WEB サイト：<https://www.ip-ai.or.jp/>

■株式会社 KAGAMIAI Holdings 会社概要（運営・テクノロジーパートナー）

- ・社名：株式会社 KAGAMIAI Holdings
- ・代表者：代表取締役 CEO 木村 泰宗
- ・事業内容：AI・IP ライセンス管理システム「Kagami Gate」の開発・運用、AI ソリューション事業
- ・URL：<https://www.kagami-ai.com/>

■株式会社 NEXYZ.Group 会社概要（グループ統括・発信元）

- ・社名：株式会社 NEXYZ.Group（NEXYZ.Group Inc.）
- ・上場市場：東証スタンダード市場（証券コード：4346）
- ・代表者：代表取締役社長 兼 グループ代表 近藤 太香巳
- ・所在地：東京都渋谷区桜丘町 20-4 ネクシーズ スクエアビル
- ・URL：<https://www.nexyzgroup.jp/>

※1) 2025 年 7 月 中国の裁判所が AI サービスによる「ウルトラマン」の無断学習・生成に使用停止と損害賠償を命令／2025 年 8 月 新聞 3 社が米 Perplexity を提訴／2025 年 10 月 CODA が OpenAI に中止要求／2026 年 8 月 ソニーミュージック・ワーナーミュージックが Anthropic を提訴。

【取材依頼・お問い合わせ】

株式会社 NEXYZ.Group グループ広報・IR

TEL：03-6415-1178／MAIL：pr_ir@nexyzgroup.jp